

## 会 議 録

会議の名称	第2回一般廃棄物処理施設整備検討委員会
開催日時	平成28年8月24日(水) 午後1時30分から午後3時30分まで
開催場所	能代山本広域交流センター 第1研修室
出席委員等	<p><b>【委員】</b>  濱田 雅巳 公益社団法人全国都市清掃会議 技術部長  川村 之聡 秋田県 生活環境部環境整備課 課長  宮腰 慶聡 能代市  藤田 定 能代市 (委員長)  淡路 和春 藤里町  淡路 高江 藤里町  加賀谷 道則 三種町 (副委員長)  平塚 三千男 三種町  辻 正英 八峰町  金平 公明 八峰町</p> <p><b>【オブザーバー】</b>  袴田 功 能代市 環境産業部環境衛生課 課長  村岡 徳一 藤里町 生活環境課 課長  川村 義之 三種町 町民生活課 課長</p>
欠席委員等	<p><b>【委員】</b>  鶴田 俊 公立大学法人秋田県立大学 教授</p> <p><b>【オブザーバー】</b>  須藤 徳雄 八峰町 総務課 課長</p>
事務局職員等	<p><b>【能代山本広域市町村圏組合】</b>  事務局長 吉田 昌純  事務局次長 佐藤 隆一  環境衛生課 課長 有山 勇  環境衛生課 課長補佐 田村 典勝  環境衛生課 主査 笹村 敬之</p> <p><b>【説明補助員】</b>  一般財団法人日本環境衛生センター  環境工学部 部長 佐藤 幸世  " 事業推進役 是則 恭士  " 課長 増渕 淳一  " 計画建設技術課 課長代理 植木 祥治</p>
次 第	1 開会 2 委員長あいさつ 3 一般廃棄物処理施設の在り方について

	<p>4 施設視察の補足（映像）</p> <p>5 可燃ごみ処理施設の処理方式の概要について</p> <p>6 案件 （１）評価項目及び配点基準について</p> <p>7 その他</p> <p>8 閉会</p>
配布資料	<p>資料 1 一般廃棄物処理施設の在り方について</p> <p>資料 2 可燃ごみ処理施設の処理方式の概要</p> <p>資料 3 可燃ごみ処理施設の処理方式の評価項目及び配点基準について</p> <p>資料 4 可燃ごみ処理施設の処理方式選定に係る技術調査書</p>
発言者	案件・発言・結果等
事務局 委員長 事務局 委員 事務局 オブザーバー （能代市）	<p>1) 開会</p> <p>2) 委員長あいさつ</p> <p>3) 一般廃棄物処理施設の在り方について 〈 資料 1 に基づき説明 〉</p> <p>能代市一般廃棄物最終処分場の受入停止時期が平成 3 8 年頃から 3 6 年度中に変更となり、最終処分先の確保が急務となっている。最終処分場を建設する場合でも、用地選定等に時間を要するため、3 6 年度から当面は委託することを視野に入れながら、最終処分方法を検討したい。</p> <p>現在、不燃ごみ・粗大ごみと燃えるごみは、別々の場所で処理している。住民がごみを持ち込むときに、どちらの施設に持って行ったらよいか分からないことが多い。今後、高齢化が進むと分別が困難になる可能性もあり、利用する側の立場から、不燃ごみ・粗大ごみと燃えるごみは 1 か所で引き取れるようにした方がよい。</p> <p>住民が埋立ごみの処分を業者に依頼することがあるが、業者は持ち込みできる一般廃棄物最終処分場がなくなると、引き取りできなくなる。最終処分を委託するとしても、住民から出た埋立ごみを業者が持ち込めるようにしてほしい。</p> <p>また、災害時の対応を考えると、自前で埋立できる最終処分場があるということは有意なことと考える。</p> <p>不燃ごみ・粗大ごみ処理施設を可燃ごみ処理施設に併設することは、利用者にとって便利になるとともに、管理体制としても効率がよくなるメリットがある。今年度の検討委員会で課題を整理して、不燃ごみ・粗大ごみ処理施設を建設するか、併設するかなどを決めたい。</p> <p>最終処分場については、災害時の対応を考えると建設することが望ましいが、コストなどを含めて総合的に判断して、今年度中に結論を出したい。</p> <p>組合の焼却残さや不燃残さの最終処分を検討しており、その他の埋立ごみは各市町の対応となる。</p> <p>能代市一般廃棄物最終処分場の受入れは、大部分が組合からの焼却残さ等であり、残余容量の減少により平成 3 6 年度中に受入れを停止することとした。組合以外の埋立ごみの受入れについては、市民サービスが低下しないよう民間委託を検討することとしている。</p>

委員	不燃ごみ・粗大ごみを全て民間委託する場合、民間業者は破碎・選別し、有価物を回収後、残さを焼却する。廃棄物処理法上、再委託は禁止されているが、破碎・選別と焼却の両方できる業者はあるのか。
事務局	県内には、破碎・選別、焼却、最終処分をグループ会社で処理できるところがある。
委員	ごみを受け入れる業者の一覧表がないか。以前、布団を処分する際に、切ってから持ち込むように言われたことがある。秋田市の施設を視察した時は、そのまま持ち込みできるということで驚いた。また、業者の値段もまちまちである。
事務局	業者の値段等は把握していない。ごみの処理料金や出し方は自治体により異なる。
事務局	4) 施設視察の補足(映像) 〈 映像により、検討対象の4方式について補足 〉
事務局	5) 可燃ごみ処理施設の処理方式の概要について 〈 資料2に基づき説明 〉
委員	4)、5)の質疑なし
事務局	6) 案件 (1)評価項目及び配点基準について 〈 資料3、4に基づき説明 〉 アンケートについては、処理方式ごとに建設実績の多いメーカー各2～3社に依頼した。評価項目に追加があれば、追加アンケート等を行う。
委員長	ごみ処理方式を選定するためには、配点基準が大きなウェイトを占めるので、ご意見をお願いしたい。
委員	①処理方式が影響するものに設置面積がある。建設用地が決まっていないので、設置面積がどれだけ全体に影響するのか分からないが、例えば狭隘な土地であれば影響する。工場棟の大きさはアンケートをするので、評価項目に入れるか、入れないかはもう少し考えてよいかもしれない。 ②公害防止条件については、処理方式よりも排ガス処理設備の性能によるものであり、どの処理方式を採用してもクリアできると思われる。評価項目に入れるのはよいが、同じ評価になり差がつかないので、配点を下げてよいと思う。 ③災害対策については、処理方式よりも施設全体のコンセプトである。国では、電気・水道・薬品の供給が止まっても焼却できることを求めている。そのためには、ごみピット・薬品貯留槽・受水槽を大きくし、緊急用の井戸を掘ることなどで対応することとなる。これも差がつかない可能性がある。 ④操作性のうち労働安全衛生性について、火災・爆発があるが、ここで差がつくかは難しい。操作・点検は、どの処理方式も自動化が進んでいるので、操作性はよい。ただし、直接搬入するごみには、処理不適物が入ることがある。それによって、前処理破碎が必要となる方式では、詰ま

	<p>りが発生し、除去作業が生じる可能性がある。</p> <p>⑤エネルギー消費量とエネルギー回収率について、100トン位が発電により施設の電気を賄える目安であり、90トンはギリギリである。アンケートでは、発電用ボイラの蒸気条件を3MPa、300℃に設定しているが、この設定は費用を抑えた中で、一番高い効率を求めているスペックと考えられる。現在、4MPa、400℃が高効率発電と言われているが、それより低い設定とし、交付金のエネルギー回収率10%をターゲットにするのであれば、エネルギー消費量とエネルギー回収率は1つの括りとし、エネルギー効率でよいと思う。</p> <p>⑥資源化可能量と最終処分量は、裏腹な関係である。どれだけ埋立量が減るのかということと、資源化するためにどれだけコストが増えるのかが重要である。最終処分場の確保も、この問題にリンクしてくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コストが重要と考えられる。公害防止条件が守られることを前提とし、施設整備の基本方針を逸脱しないよう絶対条件としてクリアできる項目があってもいいが、その配点を下げて、コストの配点を高くした方がよいと思う。</li> </ul>
事務局	<p>①処理方式の選定後、必要な面積に合わせて用地を選定することになっているため、評価項目には入っていない。設置面積が変わっても用地費が大きく変わる程ではないと考えている。</p> <p>②公害防止基準については、重要な項目だと考えており、あまり差はつかないかと思うが、確認の意味としても評価項目に入れている。今後、住民説明をする際にも、排ガス基準等は重要になると考えている。</p> <p>③災害対策については、コストをかければ対策できることはあるが、経済性に大きな影響がない範囲で、地震などの災害時に安全に停止するかなどの対策を確認する。</p> <p>④操作性について、ステーション回収のごみは問題ないが、施設に直接搬入されるごみには処理不適物が混入することがある。このことにより、施設で火災や爆発などのトラブルが起きないか確認する。</p> <p>⑤発電を採用している施設は100トン以上が一般的で、90トンは厳しい。この地域のごみ量は減少が予想されるため、発電は更に厳しくなると思われる。技術的なことは、説明補助員が説明する。</p>
説明補助員	<p>蒸気条件の3MPa、300℃は、ご指摘のとおり高効率ではなく、手堅い設定としている。処理方式を選定するに当たり、同じ条件で評価するため、この条件としている。</p> <p>また、エネルギー消費量とエネルギー回収率については、ごみの持つエネルギーは共通だが、シャフト式ガス化溶解方式のようにコークスを使用する場合は、消費量が多いけれども回収量も多くなるということがある。そういった意味で、消費量と回収率の両面で評価したいと考え設定している。</p> <p>⑥資源化可能量と最終処分量については、スラグや焼却灰を資源化することとして、その量を確認する。最終処分量については、少ない方がよい</p>

委員	<p>ということで整理する。資源化や最終処分が問題になるが、それは次の経済性の維持管理費で整理したい。</p> <p>項目を削除するというのではなく、一緒にしても評価は変わらない。配点は、経済性が30点で技術が70点だが、70点中20点から30点は横並びになる。差がつくのは40点から50点になるので、見かけ上の点数とは異なる。</p> <p>公害防止条件の排ガスとその他、災害対策と操作性の労働安全衛生性は、項目を合わせて5点ずつでもよいと思う。</p> <p>エネルギー回収率について、3MPa、300℃の条件であれば、エネルギー消費量が重きをなすはず。差がつかない5点を残す意味がないので、一緒にしてエネルギー効率として、エネルギー消費量を評価すればよいのではないか。そうした方が何をしたいのか、委員会としての意思表示がはっきりすると考える。</p> <p>資源化可能量と最終処分量について、資源化の費用は後で評価することだが費用を乗せておかないと、同じレベルでの評価にならないと思う。</p>
委員長	<p>配点基準等は、変えてもいいのではないかと思います。</p> <p>評価項目により、各処理方式に差がつくことが大切である。これが次のステップになるので、十分に検討する必要がある。</p>
委員	<p>3段階評価（◎、○、△）は、どのように判断するのか。</p>
委員	<p>定量的や定性的、相対的な比較により評価すると書かれているが、この表では、どのレベルが何点になるのかわからない。</p>
事務局	<p>今回は、評価項目及び配点基準までとしている。今後、事務局がアンケート結果等を取りまとめ、委員長及び副委員長と協議し、評価（案）を作成することとしており、その評価（案）を次の第3回検討委員会で検討していただきたいと考えている。</p>
委員	<p>処理方式によって建築面積が変わるのか。それによって建設費や用地費が変わるとすれば、評価項目に入れた方がよい。</p>
事務局	<p>処理方式によって建築面積が異なる。建設費は評価項目にあるが、用地費は含まれていない。面積は異なるが、用地費が大きく変わる程ではないと考えている。</p>
委員	<p>メーカーアンケートの計画概要に、気象条件、積雪量などが記載されているが、建設を想定している地区があるのか。</p>
事務局	<p>建設想定地区はない。アンケートに回答していただくため、仮条件として設定している。</p>
委員	<p>場所や必要な面積などもう少しはっきりさせないと、漠然とした話し合いになってしまう。</p>
事務局	<p>今回は、処理方式を決めることを目的として、仮条件を設定している。気象条件の対応は、場所にあわせて具体的に対策を検討することになる。</p>

委員長	<p>メーカーアンケートの条件書は、処理方式を選定するために、同じ条件で提案してもらうための資料である。統一条件で出してもらわないと比較ができなくなるため設定している。</p> <p>次の段階で具体的な検討となる。例えば、雪の多いところと少ないところでは、建設費や維持管理費が違うかもしれない。これは今後の問題である。</p> <p>事務局より、委員の意見を踏まえた配点基準等の修正案を作成してもらうこととし、その決定については、委員長と副委員長に一任していただきたい。</p>
委員	<p>異議なし</p>
委員	<p>処理方式の持つ特性の部分を引き立たせた方がよいと考える。横並びになる部分については、評価の対象にするのは構わないが、少し配点を下げても同じである。自治体にとって財政状況が厳しい中、コストの増大は大きな要素だと思うので、技術と経済性が6対4ぐらいになるように、項目を整理すると浮き立つと思う。これまでの経験を踏まえて、こういう施設が欲しい、ここに優れたものが欲しいなど、浮き出させる方向で修正するとよい。配点基準等は、委員長にお任せする。</p>
事務局	<p>委員のご意見を踏まえて配点基準等の修正案を作成し、委員長と副委員長に決めていただき、その結果を委員の皆様にお知らせする。</p>
事務局	<p>7) その他        次回の会議は、11月中旬を予定している。</p>
委員長	<p>8) 閉会</p> <p style="text-align: right;">以上</p>